

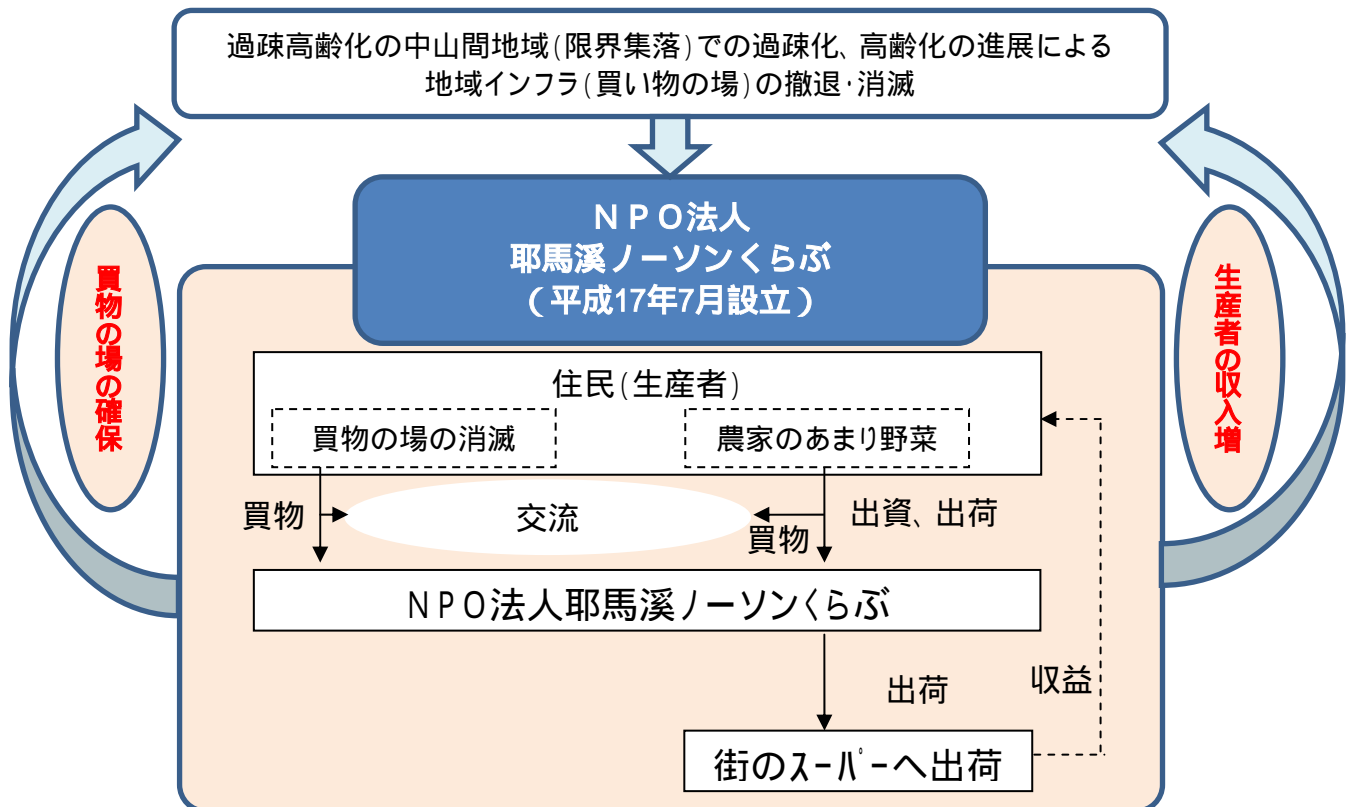
NPO法人 耶馬溪ノーソンくらぶ (大分県中津市)

～「買物の場の確保」と「地域生産者の収入増」を同時に満たす住民主体の物販店の運営～

1. 事業概要 <コミュニティの核となる店舗と高齢農家の収入を創出>

- ・農協支所の撤退により徒歩圏での買物の場が消失。農協支店跡を活用した生活用品販売による、高齢者等を中心とした買い物支援を実施。
- ・地域の高齢者が生産した農産物を地元スーパーに販売代行する事業も展開。出荷には会員となることが必要で、入会金 2,000 円、年会費 1,000 円、現在、会員は 80 人に上る。

2. 地域おこしフロー



- ・“ 買い物の場 ” という地域になくてはならない重要な生活基盤を住民主導で再生し、コミュニティの場としても活用。出荷事業により高齢者の収入が増加。二事業を車の両輪として、限界集落の存続の中核を担う。

3. 地域の社会的課題と活動のきっかけ

社会的課題

- ・中山間地域（限界集落）での過疎化、高齢化の進展による地域インフラ（買い物の場）であった農協の撤退による生活利便性の低下。

活動のきっかけ

- ・市町村合併の影響もあり地域インフラの脆弱化が進む。とりわけ農協の撤退による徒歩圏の日用品の買い物の場が消失し、その対策として取り組みを開始。NPO設立時には地区外の有志も理事メンバーに名を連ねる。

4. 地域への波及効果

住民に密着したサービス

住民のリクエストに応じ、食品・衣料品など300品目を品揃え。1.7万円/日、年間364万円の売上げ(平成21年度)
肉や魚などは置かず移動販売事業者との棲み分け。



【農協支店を買取り、改装オープン】

生産者の収入の増加

会員のうち30名は、NPO法人を通じて、自ら生産した野菜等を都市部のスーパー等に出荷し、約7割を出荷者に還元。月1万～10万の収入を得ており、店舗での商品購入にも充当。



【ノーソンは“地域のたまり場”】

5. リーダーの声

- ・住民のリクエストに応じた品揃えとすることで、ノーソンは“地域のたまり場”となっています。また、生産者の収入は少なくともお金になることが地域を元気にしていると思います。
- ・一方で、収益性が低く、人材も不足しているため、今後は農産物加工品の生産・販売等の事業拡大や、Iターン人材の取り込み、地域外へのPR等の対策が必要だと考えています。

所在 : 大分県中津市 設立 : 平成17年7月

従業員数 : 1名(常勤) 地元住民が分担しサポート

主要事業 : 日用品の販売、農産物の出荷

ホームページ : <http://www.afc.jfc.go.jp/information/producing/201008.html>

事務局 : 中島信男

売上 : 約360万円(平成21年度)